



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年2月3日
上場取引所 東

上場会社名 新京成電鉄株式会社
コード番号 9014 URL <http://www.shinkeisei.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 笠井 孝悦
問合せ先責任者 (役職名) 財務戦略部主計資金担当課長 (氏名) 藤田 正樹 TEL 047-389-1124
四半期報告書提出予定日 平成26年2月7日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	14,771	0.5	2,489	△5.7	2,407	△5.6	1,484	△6.0
25年3月期第3四半期	14,704	0.4	2,638	8.1	2,549	11.3	1,578	34.5

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 1,480百万円 (△18.1%) 25年3月期第3四半期 1,808百万円 (26.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	27.03	—
25年3月期第3四半期	28.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	66,261	30,113	45.4
25年3月期	66,908	28,918	43.2

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 30,113百万円 25年3月期 28,918百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
26年3月期	—	2.50	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,556	0.3	2,865	△6.0	2,827	△5.6	1,616	△9.6	29.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期3Q	55,116,142株	25年3月期	55,116,142株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	205,450株	25年3月期	177,525株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期3Q	54,922,459株	25年3月期3Q	54,940,712株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、[添付資料] 2 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済対策・金融政策による円安・株高等を背景に、緩やかな持ち直しの動きがみられたものの、海外景気の下振れ懸念やエネルギー価格の上昇、今後の消費増税に係る影響など、依然として先行き不透明なまま推移いたしました。

このような状況のもとで、当社グループでは安全管理体制のさらなる充実を根幹とし、引き続き全事業において積極的な営業活動を展開するとともに経営基盤の強化並びに効率化に努めました。

その結果、営業収益は14,771百万円(前年同期比0.5%増 67百万円)、営業利益は2,489百万円(前年同期比5.7%減 149百万円)、経常利益は2,407百万円(前年同期比5.6%減 142百万円)、四半期純利益は1,484百万円(前年同期比6.0%減 94百万円)となりました。

これをセグメントごとに示すと次のとおりであります。

運輸業

鉄道事業では、安全輸送確保の取り組みとして、軌道設備の強化改良工事や法面擁壁補強工事、ホーム内方線の整備をすすめ、保安度向上に努めましたのはじめ、電気融雪器の設置を継続しましたほか、踏切事故防止を図るため、諸施設の新設・更新工事を実施いたしました。

旅客サービスにかかる一層の向上策として、車両への自動放送装置の設置をすすめました。

また、上本郷駅及び三咲駅に遠隔監視システムの導入を実施し、駅業務の一層の効率化を図りました。

鎌ヶ谷市内の連続立体交差化工事につきましては、引き続き早期完成を目指し工事をすすめております。

営業面につきましては、沿線健康ハイキングを実施しましたのはじめ、千葉ロッテマリーンズや千葉テレビ、千葉ジェッツとのコラボレーションによるラッピング電車の運行を行いましたほか、行楽施設の前売券や企画乗車券等の発売を行い、旅客誘致並びに増収対策に努めました。

バス事業の一般乗合輸送につきましては、船橋新京成バス株式会社が都心から船橋駅・北習志野駅方面への深夜急行バスの運行を開始しましたほか、船橋新京成バス株式会社及び松戸新京成バス株式会社が利便性の向上を図るため、ダイヤ改正を行いました。

安全性向上策として、前年度よりすすめておりました車両へのドライブレコーダーの設置が完了いたしました。

貸切輸送につきましては、安全の確保に向けた取り組みを踏まえ「平成25年度貸切バス事業者安全性評価認定制度」の認定を受けましたほか、送迎輸送を受注し、増収対策に努めました。

以上の結果、営業収益は12,013百万円(前年同期比1.2%増 138百万円)となりましたものの、営業利益は動力費等が増加したこともあり1,278百万円(前年同期比9.2%減 130百万円)となりました。

不動産業

不動産賃貸業では、空室へのテナント誘致を積極的にを行い物件稼働率の向上に努めましたほか、賃貸施設の保全工事を実施いたしました。

以上の結果、営業収益は2,340百万円(前年同期比2.0%減 48百万円)となり、営業利益は1,152百万円(前年同期比2.5%減 29百万円)となりました。

その他

その他(販売店業等)の営業収益は538百万円(前年同期比5.5%減 31百万円)となりましたものの、営業利益は37百万円(前年同期比32.0%増 9百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、建設仮勘定、現金及び預金の増加等がありましたものの、減価償却による有形固定資産の減少等により前連結会計年度末に比べ647百万円(前期比1.0%減)減少し、66,261百万円となりました。

負債は、前受金の増加等がありましたものの、未払金、長期借入金の減少等により、前連結会計年度末に比べ1,842百万円(前期比4.9%減)減少し、36,147百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加等により前連結会計年度末に比べ1,195百万円(前期比4.1%増)増加し、30,113百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきましては、平成25年10月30日に発表いたしました予想数値のとおりに概ね推移しており変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,346,933	3,951,887
売掛金	1,049,201	977,852
商品及び製品	32,407	25,175
分譲土地建物	2,909,779	2,909,779
原材料及び貯蔵品	261,900	274,517
繰延税金資産	294,888	137,526
その他	253,484	154,361
流動資産合計	8,148,594	8,431,101
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	21,391,855	20,731,680
機械装置及び運搬具(純額)	5,803,940	5,330,090
土地	9,339,241	9,325,934
建設仮勘定	14,650,727	15,343,687
その他(純額)	809,509	573,055
有形固定資産合計	51,995,274	51,304,448
無形固定資産		
その他	415,610	333,000
無形固定資産合計	415,610	333,000
投資その他の資産		
投資有価証券	5,917,780	5,897,074
繰延税金資産	85,633	94,195
その他	345,676	201,551
投資その他の資産合計	6,349,090	6,192,821
固定資産合計	58,759,976	57,830,269
資産合計	66,908,570	66,261,371
負債の部		
流動負債		
買掛金	826,324	724,615
短期借入金	3,822,080	3,780,480
未払金	3,177,819	891,160
未払法人税等	671,372	343,911
前受金	11,035,110	13,406,623
賞与引当金	443,919	155,836
その他	2,262,186	2,566,596
流動負債合計	22,238,813	21,869,222
固定負債		
長期借入金	10,280,650	8,858,990
退職給付引当金	2,414,061	2,569,051
繰延税金負債	431,403	323,379
その他	2,625,258	2,526,899
固定負債合計	15,751,373	14,278,320
負債合計	37,990,187	36,147,542

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,935,940	5,935,940
資本剰余金	4,774,511	4,774,519
利益剰余金	15,905,441	17,115,130
自己株式	△65,266	△76,012
株主資本合計	26,550,626	27,749,578
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,367,756	2,364,250
その他の包括利益累計額合計	2,367,756	2,364,250
純資産合計	28,918,383	30,113,828
負債純資産合計	66,908,570	66,261,371

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
営業収益	14,704,340	14,771,568
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	11,249,577	11,319,669
販売費及び一般管理費	815,894	962,266
営業費合計	12,065,471	12,281,935
営業利益	2,638,868	2,489,632
営業外収益		
受取利息	331	367
受取配当金	42,397	46,621
持分法による投資利益	7,609	19,046
その他	79,314	44,829
営業外収益合計	129,653	110,865
営業外費用		
支払利息	215,857	190,495
その他	2,944	2,975
営業外費用合計	218,802	193,470
経常利益	2,549,719	2,407,027
特別利益		
工事負担金等受入額	155,936	286,436
固定資産売却益	—	9,863
特別利益合計	155,936	296,300
特別損失		
固定資産圧縮損	155,749	139,221
固定資産除却損	—	166,693
特別損失合計	155,749	305,914
税金等調整前四半期純利益	2,549,906	2,397,412
法人税、住民税及び事業税	876,703	856,965
法人税等調整額	94,853	56,130
法人税等合計	971,556	913,095
少数株主損益調整前四半期純利益	1,578,350	1,484,317
四半期純利益	1,578,350	1,484,317

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,578,350	1,484,317
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	227,397	△4,070
持分法適用会社に対する持分相当額	2,706	563
その他の包括利益合計	230,104	△3,506
四半期包括利益	1,808,454	1,480,810
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,808,454	1,480,810
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	運輸業	不動産業	計				
営業収益							
外部顧客への 営業収益	11,859,877	2,358,354	14,218,232	486,107	14,704,340	—	14,704,340
セグメント間 の内部営業収 益又は振替高	15,621	30,449	46,071	83,554	129,625	△129,625	—
計	11,875,499	2,388,804	14,264,303	569,661	14,833,965	△129,625	14,704,340
セグメント利益	1,408,852	1,181,851	2,590,704	28,725	2,619,429	19,439	2,638,868

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、駅売店業等であり
ます。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	運輸業	不動産業	計				
営業収益							
外部顧客への 営業収益	11,998,501	2,310,780	14,309,282	462,286	14,771,568	—	14,771,568
セグメント間 の内部営業収 益又は振替高	15,223	29,888	45,112	76,084	121,196	△121,196	—
計	12,013,724	2,340,669	14,354,394	538,370	14,892,765	△121,196	14,771,568
セグメント利益	1,278,781	1,152,057	2,430,838	37,903	2,468,741	20,891	2,489,632

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、駅売店業等であり
ます。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。